

岡本 幹男 議員

引きこもり対策に相談体制の明確化を

問 相談の窓口が分かれており、窓口の一本化、安心して話のできる窓口環境の実現、基本的研修が必要ではないか。

答 窓口の職員の責任ある対応と、内容により専門機関との連携をしている。しかし、引きこもりの定義など情報提供の不足もあり、今後、先進地の事例研究や窓口機能・連携強化に努めていきたい。

介護分野へ人材確保を

問 実施中の生涯現役促進地域連携事業として、高齢者の仕事づくりと介護現場との連携をいかにとっていくか。

答 介護事業所と高齢者の仕事の結びつけの困難さはあるが、今年中に就労支援の仕組みづくりを確立させたい。

村井 勝彦 議員

農地の保全と地域づくりの取り組み

問 上貫名集落内の農用地区域の農地をどのように捉えているか。

答 上貫名の集落内には小規模な農用地区域内の農地が介在しているが、一団の大規模な農地が広がる地域と比較すると一体的な利用が十分にできない現状であることから、将来を見通した場合には、地域の実態に合った土地利用の検討や見直しが必要であると認識している。

問 東の玄関口にふさわしい地域づくりをどのように進めるか。

答 大和ハウス周辺を都市活力創出地と位置付け、大和ハウスの移転を契機に上貫名地区を含め土地利用計画のあり方について、中長期的な視点から、地域での主体的な議論とともに検討していきたい。



地域協働運行バス「めだか号」

地域公共交通利用者にマイ時刻表を

問 コミュニティセンターが個人の要望を聞きマイ時刻表を作成・交付してはどうか。

答 新たに停留所型デマンドタクシーが運用されたこともあり、市がマイ時刻表のフォームを作成・配布し、利用者が乗り継ぎの情報などを記入し活用することで、利用拡大につなげていきたい。



上貫名集落の農地

交通安全対策の取り組み

問 子どもを交通事故から守るため、今後どのような対策を行うか。

答 各地で子どもが巻き込まれる重大な事故が発生していることから、今後、幼稚園、学校、地域の皆さん、警察、道路管理者などと連携し、道路の危険箇所の確認・改善に努め、通学路などの安全確保を図ってまいります。